

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第132号	氏名	査 査
学位審査委員	主 査	小路 武彦	
	副 査	関根 一郎	
	副 査	金武 洋	
論文審査の結果の要旨			
学位論文題名 「Life-long suppression of growth hormone-insulin-like growth factor I activity in genetically altered rats could prevent age-related renal damage」			
1 研究目的の評価 本研究は、加齢に伴う腎機能障害への GH 及び IGF-I の関与を明らかにするため、これらの発現が長期抑制されたトランスジェニックラットを用い加齢性腎障害について検討したもので、研究目的として妥当である。			
2 研究手法に関する評価 トランスジェニックラットに関しては、homozygote 群及びhemizygote 群を野生型群と比較して検討されており、また糸球体硬化や尿細管間質病変の評価方法及び免疫組織化学的検討も適切に行われており、研究手法も妥当である。			
3 解析・考察の評価 上記検討の結果、加齢性腎障害は GH/IGF-I 抑制ラットで顕著に軽減されることが示され、またこれら腎組織障害の軽減への炎症細胞浸潤の抑制や線維化関連因子の発現抑制の関与が示唆された点、これらの研究結果と考察内容は高く評価できる。			
以上のように、本論文は加齢性腎組織障害の発症機序の理解に貢献するところ大であり、審査委員は全員一致で博士(医学)の学位に値するものと判断した。			